



# 宇治田原町 議会だより

No. 77 2013.11.1



## 《目次》

- 9月定例会..... 2P
- 決算特別委員会での審議..... 4P
- 補正予算特別委員会の報告..... 7P
- 常任委員会の報告・意見書..... 8P
- 9議員が町政を問う..... 9P
- 常任委員会研修報告..... 19P
- インタビュー（奥村ウノさん）..... 21P

# 可決 (全会一致)



台風 18 号の豪雨で崩れた茶園 (禅定寺時雨谷)

平成25年第3回定例会は、9月6日から10月8日まで開催した。予算関係13件(補正)、条例関係6件、一般議案3件が提案され、原案通り可決した。また、平成24年度決算7議案については、監査委員を除く11名で決算特別委員会を設置し、審議した。一般質問には9人が登壇し活発に議論した。最終日には台風18号による災害被害に対し、2億円の補正予算が提案され、可決した。

## 予算が町民の幸せのために効果的に使われたのか

# 平成24年度 決算をチェック！

## 一般会計 賛成7：反対4で認定

### 各会計の決算一覧

(千円以下切捨て)

会計名		歳入	歳出	歳入歳出差引額	審議結果	
一般会計		38億2,102万円	36億7,595万円	1億4,506万円	認定 賛成7：反対4	
特別会計	国民健康保険	10億2,055万円	10億6,835万円	△4,779万円	認定 賛成9：反対2	
	後期高齢者医療	8,338万円	8,287万円	51万円	認定 賛成9：反対2	
	介護保険	保険事業勘定	6億7,458万円	6億7,237万円	220万円	認定 賛成9：反対2
		介護サービス事業勘定	314万円	225万円	88万円	
	奥山田地区簡易水道事業		9,628万円	9,589万円	39万円	認定 全員賛成
	公共下水道事業		4億6,962万円	4億5,964万円	997万円	認定 全員賛成
水道事業会計	収益的	1億9,899万円	1億8,649万円	1,250万円	認定 全員賛成	
	資本的	2,960万円	1億4,996万円	△1億2,036万円		

# 台風18号被害対策費として

# 2億円の補正予算

会計予算名	補正額	補正後の総額	審議結果
一般会計(5号)	2億円	41億33万円	可決 全員賛成
奥山田簡易水道特別会計(2号)	500万円	6,146万円	可決 全員賛成

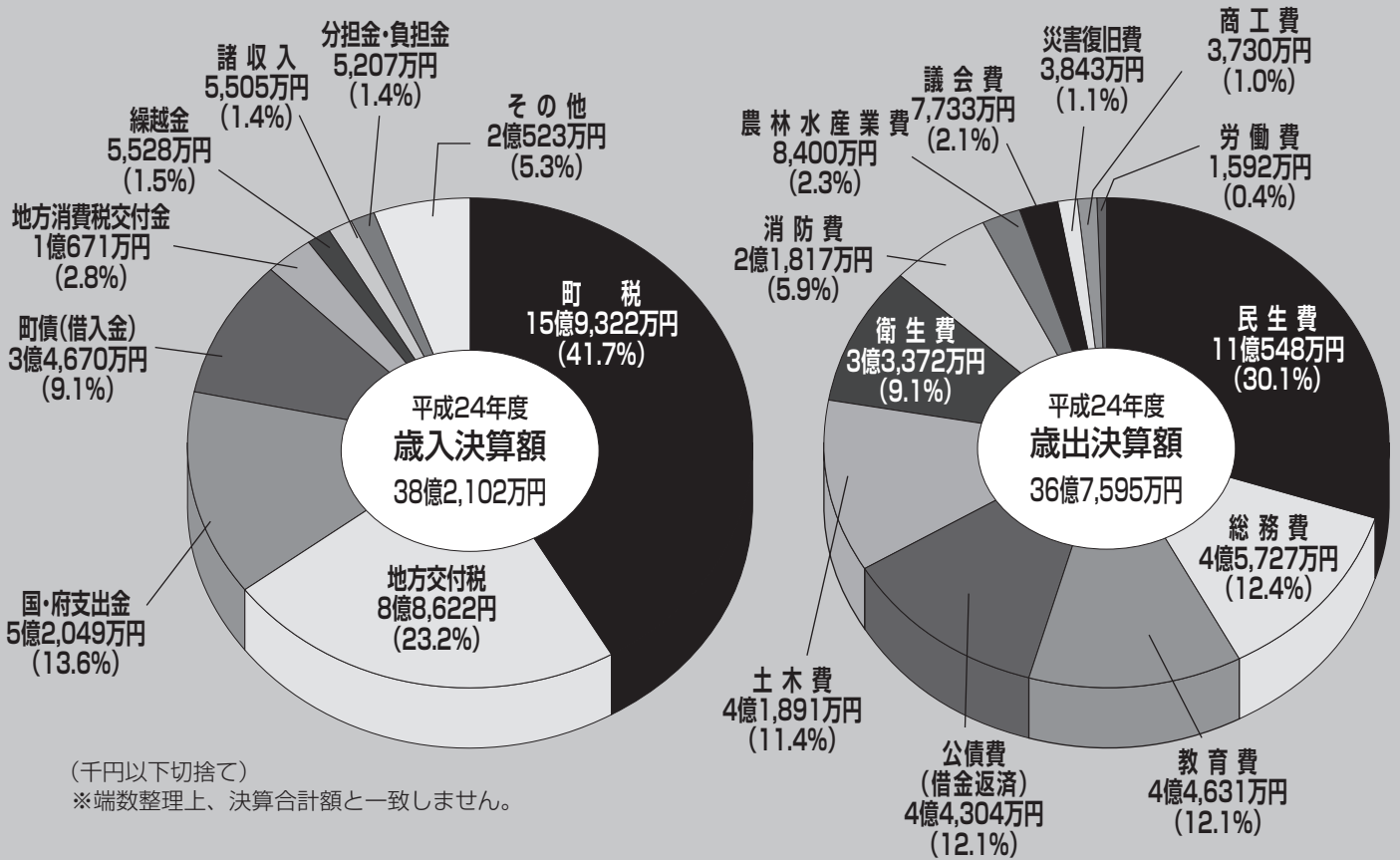
9月16日、大型台風18号の影響で京都府には、5時15分に大雨特別警報が発表され、本町でも緑苑坂・銘城台を除く地域に避難勧告が発令された。国道307号線の岩山、奥山田地域での崩落による通行止や、河川・田畑でも甚大な被害が発生した。この災害復旧に対し早急に対応するため、2億円の補正予算が提案され、全会一致で可決した。

## 補正予算の内訳

事業	補正予算額
農地農業用施設	8,000万円
林業施設	1,700万円
公共土木施設	8,100万円
公立学校施設	500万円
町単費土地改良事業	500万円
被災者住宅再建支援	250万円
奥山田簡易水道事業	500万円
一般管理費(消防資機材等)	100万円
職員人件費(災害対応)	350万円
合計	2億円



## (一般会計)



# 決算特別委員会の審査

決算特別委員会は、監査委員を除く11名で設置。委員長に垣内秋弘氏、副委員長に谷口重和氏を選出し、審査した。

9月26日、27日、決算特別委員会を開会し、平成24年度一般会計、特別会計、水道事業会計について個別審査を行った。30日、主要町道新設改良事業(8の14号線)、維孝館中学校図書室、小



町道改良事業(奥山田)を視察

水力発電推進事業、田原元気っ子クラブ「遊びの広場」整備事業の4カ所の現地審査を行った。10月1日、総括審議の後、それぞれの議案について認定し、決算特別委員会を閉会した。

## 決算審査意見書(要旨)

平成24年度一般会計、特別会計、水道事業会計各会計の決算書、財産調書等を照査・審査した結果、計数的に正確であり、予算執行等においても良好であると認める。

現地調査についても、各事業とも住民生活の利便性、安全性、快適性を確保するために適正に執行されていると認める。

今後より効率的な行財政運営に努め、第5次行政改革大綱、実施計画の着実な取り組みを進めるとともに、未収金については一層の収納努力を望む。総合計画に掲げる将来像「心をつなぎともに創る 茶文化のまち」の実現に向け、なお一層の努力を期待するものである。

監査委員

## 主たる質疑

### 総括

【質問】

複雑多様化する行政課題に対応するために町職員の定員適正化計画の見直し、体制づくりは非常に重要。定数及び部長制も含め組織・機構を見直

すべきでは。

【答 弁】

次年度の実現に向けて、見直しを検討する。

【質問】

決算規模及び投資的経費の拡充を図るべきでは。

【答 弁】

規模が類似する地方公共団体等の財政指標を参考にし、適切な財政規模と運営に努めたい。

【質問】

庁舎について、一刻も早く方向性を出すべきでは。

【答 弁】

年内には方向性を出せるよう進めたい。

【質問】

学校図書の実をさらに充実させたい。

【答 弁】

図書室の充実に向けて今年度中に方針を出していきたい。

【質問】

健康長寿日本一のみちづくりをめざして専門職の増員をはかり、強力的に取り組むべきでは。

【答 弁】

専門職の重要性を踏まえながら、十分検討していきたい。



中学校図書室



JR 宇治駅

【質問】

JR奈良線の高速化・複線化事業について、促進協議会へ負担金を支出しているが、加入そのものを見直すべきでは。

【質問】

立川平岡・大道寺地区の交通安全対策についてどう考えているのか。

【答 弁】

JRの運行時間の短縮により、通勤・通学等の効率化を図ることに重きをおいているところであり、現在のところは、離脱の考えはない。

【答 弁】

工業団地管理組合や田辺署と連携し、国道を通行するよう啓発したい。

【質問】

一般会計

災害時生活用水協力井戸登録事業について、使用方法等は。

【答 弁】

水質検査を実施し適合した井戸には、銘板を掛けている。今後、マップを作成し、災害時に活用できるようにしていきたい。

【質問】

コミュニティバス運行について、町全体の公共交通をさらに発展させる考えはないのか。

【答 弁】

利用者が限定されており、現実として費用対効果も重要なことであり、いろいろな方策については日々検討している。

【質問】

「健やかうじたわら21プラン」の事業実施には町が総力を挙げて取り組むことが大切であり、モデル地区化を進めては。

【答 弁】

長寿の町は活力がある町と考える。各部署が連携・協力して検討し、取り組みを進めたい。

【質問】

シルバー人材センターは、法人格の基準をクリアしているが、なぜ取得していないのか。

【答 弁】

法人格取得には会員数・就業日数を安定的に上げていく必要がある。また職員の雇用も発生するため、現在はまだ取得していない。

【質問】

町内地域団体による古紙等資源の集団回収への補助金単価を1kgあたり3円から元の5円に引き上げを。

【答 弁】

早急に検討し、来年度の予算に反映したい。

【質問】

有害鳥獣対策について、小規模耕作地への補助の見直しを。

【答 弁】

京都府へも、電気柵に対する補助要件の緩和を要望した。十分協議し、今後進めていきたい。

【質問】

見守り安全パトロール隊について、一定の整理をする時期が来ているのではないか。

【答 弁】

優先順位の高い箇所から事業を実施してきたが、今後の進め方についても事業担当課と協議をしていきたい。

【答 弁】

新年度に向け検討していきたい。

【質問】

最近の通学路での事故を受け、通学路の危険箇所の総点検を改めて行うべきでは。



古紙の集団回収



小水力発電施設 (荒木)

反対

消費税増税には反対表明を

(安本 修 議員)

町長は、消費税増税は避けて通れないとの認識を示したが、きつぱりと反対を表明するとともに、町としても、あらゆる景気対策に取り組むべきである。

山手線の整備について、「本町にとって命運を分ける事業」だとしながら、京都府やネクスコから明確な回答がないまま今日に至っている。

太陽光発電や小水力発電事業は、規模があまりに小さく、費用対効果の点からは問題。木造住宅耐震改修については、もっと利用しやすい制度へ見直すべきである。健康長寿日本一に向け、職員を増員し、住民サービスの向上に取り組むべきである。小中一貫教育では、目に見える効果は実感できていない。現場の声を反映させることが重要。

討論

国保会計

【質問】

国保の短期証が未交付となっている加入者について、どのような取り組みをしているのか。

【答 弁】

地方税機構とも協議する中、個々に柔軟に対応している。

反対 (今西久美子 議員)

討論

国保税が値上げとなった。高く払えない根本問題を改善しないまま、督促や差し押さえを強化しても、住民を苦しめるだけ。引き下げを求める。

介護保険会計

【質問】

要支援の方が介護保険から締め出され、町の事

業となった場合、マンパワー、予算の点から可能なのか。

【答 弁】

介護予防は、平均寿命の延伸につながるから、町としてもやらなければならぬと考えている。

反対 (今西久美子 議員)

討論

保険料が、基準額で9千600円もの大幅値上げ。段階区分をもっと細かくするなど配慮が必要。

後期高齢者医療会計

討論

反対 (今西久美子 議員)

今回保険料が3千600円もの値上げ。負担増と差別という制度はすみやかに撤廃し、年齢差別のない制度に改善すべきである。

奥山簡易水道会計

【質問】

簡易水道施設が、台風18号により被災したと聞か、機能しているのか。

【答 弁】

清水谷川が氾濫し、浄水場内へ土砂が堆積している。宇津尾川の取水により供給を行っている。

公営下水道会計

【意見】

一般財源からの繰入金



奥山田簡易水道施設も被災

水道事業会計

【質問】

基本水量未満の世帯が約半数を占めるなか、料金体系の改善を図るべきでは。

【答 弁】

現在、料金体系の見直し作業に取りかかっており、基本水量は使用の実態に沿った請求となるような体系を作りたい。

補正予算特別委員会

町職員・町長等の給与を引き下げる

【質問】 特別職の削減率は。 【答 弁】 町長は10%、教育長は7%とした。

討論

【反対】 (今西久美子議員)

国は、地方公務員の給与引き下げ分を、地方交付税から削減した。地方自治の根幹を揺るがしかねないやり方であり強引な給与引き下げは中止すべき。

【可決 賛成9・反対2】

一般会計

て、調査の目的と方法は。

【答 弁】

利用者の減少の原因を聞き取りにより調査する。

【質問】

認知症予防リーダー養成事業について、対象人員、講師の選定、受講後の資格は。

【質問】 文化センターの防災サブ拠点の機能は、今回の整備で完了するの。 【答 弁】 今後、サブ拠点として機能が十分に果たせるよう整備していく。

【質問】 福祉バス運行について

【答 弁】

社協と連携し、町内ふれあいサロンのボランティアスタッフの方々に受講いただき、認知症予防につなげたい。資格としては特にならない。

【質問】

電気自動車普及事業について、文化センターに設置予定の充電設備はどうなるのか。

【答 弁】

電気自動車ではなく、

再生エネルギーをより効果的に利用できる太陽光発電設備に方向性をシフトし、旧奥山田小に設置することとした。充電設備も設置しない。

【質問】

旧奥山田小の薪ストーブはだれが管理するか。

【答 弁】

地域の方に管理の一翼を担っていただけるよう調整している。



薪ストーブ (やすらぎ荘)

(千円以下切捨て)

Table with 4 columns: 会計予算名, 補正額, 補正後の総額, 審議結果. It lists various budget items like '一般会計(3号)', '国民健康保険(2号)', etc., with their respective amounts and approval results.

総務産業常任委員会

町道の認定・廃止

【質問】

府道と南バイパスの重複は、どこの管理か。

【答弁】

上位機関の京都府が管理することとなる。

【可決 全員賛成】

高規格救急車を取得

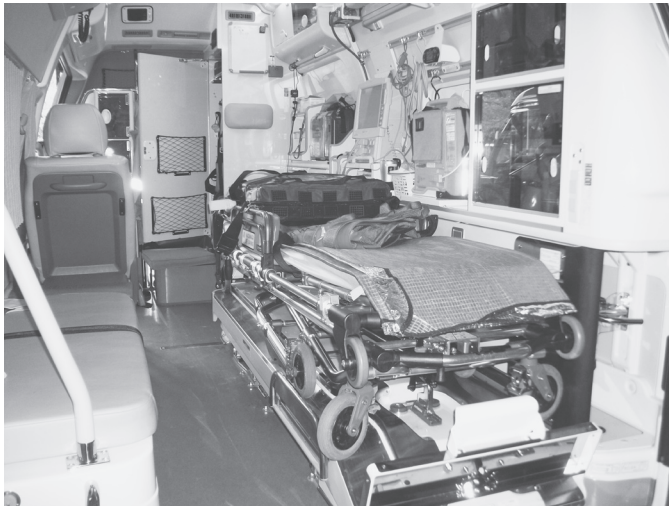
【質問】

今後も現在の更新期間を基本としていくのか。

【答弁】

基本的には現在の基準だが、時代に応じた方法で行っていききたい。

【可決 全員賛成】



高規格救急車内部

文教厚生常任委員会



町立保育所

子ども・子育て条例を制定

【質問】

保育に責任を持つ立場を貫いていくべきでは。

【答弁】

アンケートを実施し、方向性を出していく。

【可決 全員賛成】

中央公民館を解体

【質問】

活動場所が中央公民館から文化センターへ移った場合の利用料は。

【答弁】

文化センターの規定に基づき使用願っている。文化協会加盟団体は、5割減免となる。

【可決 全員賛成】

意見書

道州制導入に断固反対

全会一致で可決

道州制導入に反対する意見書

我々町村議会は、平成20年以来、全国大会において「道州制は行わないこと」を決定し、政府、国会に対し、要請してきたところである。

しかし与党においては、道州制導入をめざす法案の国会への提出の動きが依然としてみられ、野党の一部においては我々の要請を無視するかの動きがある。効率性・経済性を優先し、地域の伝統・文化等を無視した大規模な団体は、住民を置き去りにする。今、個々の自治体の活力を高めることが、全体としての国力の増強につながるものであると確信している。よって、宇治田原町議会は、道州制導入に断固反対する。

京都府綴喜郡宇治田原町議会



# 一般質問

# ズバリ！ 町政を問う

9月12日 午前10時～



## 一般質問

議員が行政全般にわたって執行機関である町に対し、事務の執行状況や方針などを質問します。

主な内容について、各議員の要約原稿を掲載しています。

	質問者	件名
1	山内実貴子	1. 教育環境の充実 2. 健康長寿日本一をめざす施策
2	奥村房雄	1. 新名神高速道路
3	谷口重和	1. 町長の政治姿勢 2. 山手線 3. 学校給食
4	今西久美子	1. 生活保護 2. 有害鳥獣被害対策
5	垣内秋弘	1. 庁舎内の体制強化 2. 行政評価システム 3. 新市街地の整備

	質問者	件名
6	青山美義	1. 安心安全対策 2. 山手線
7	原田周一	1. 高齢者対策 2. 防災対策
8	安本 修	1. 都市計画道路山手線 2. 通学路の整備 3. 住宅リフォーム助成 4. 公園の整備
9	稲石義一	1. 給与制度 2. 社会保障制度改革 3. 地域防災対策 4. 宇治田原山手線の進捗状況

## 傍聴のご案内

宇治田原町議会の本会議を傍聴しませんか。傍聴のためには本会議当日に町役場2階総務課で受付をしていただきます。議会の日程などはホームページ (<http://www.town.ujitawara.kyoto.jp/>) をご覧いただくか、議会事務局 (☎ 88 - 6641) までお問い合わせください。

# 小中学校でがん教育の強化を

## 【答】学校現場との調整で検討する

【質問】

文科省は2014年度から小中・高校で、がんに関する保健教育を強化する方針を決めた。がん

は、国民の2人に1人が

発症する時代。本町の学校現場におけるがん教育について、現状と今後の進め方は。

【答 弁（教育次長）】

特定の疾病に限定した教育指導は行っていないが、がんをはじめ多くの疾病についても学習することが可能となるよう、学校現場との調整もいろいろ検討していきたい。

【質問】

京都府ではがん経験者のがん教育メッセンジャーに任命し、直接生徒に語りかける事業に取り組む。本町でも積極的に導入するべきだと考えるがどうか。

【答 弁（教育次長）】

がん教育メッセンジャーの活用方策については、がんをはじめとする疾病に関する教育を行う中で検討する。

【質問】

様々なマンパワーを利し、本町の地域性を感知られる夢と希望を育む施策をと考えるが、今後このような取り組みは。



読み聞かせ隊（宇治田原小学校）



山内実貴子  
議員

【答 弁（教育次長）】

町内のマンパワーを活用し子どもたちの夢を育む大きな力にと、ご協力いただける場面づくりも課題と考える。小中一貫教育とも大きな関わりがあり、今後とも意見を聞きながら進めたい。

【質問】

住民の健康チェックとその把握をする上で、健診や基本チェックリストについてどのように取り組み、把握しているか。

【答 弁（健康長寿課長）】

各種健診について受診意識の啓発を行う中、特定健康診査は今年度より無料とするなど、受診率向上に取り組んでいる。

## 【答】二次予防事業の中で把握している

### 健康チェックとその把握は

介護予防の基本チェックリストについては、二次予防事業対象者把握事業で返送のあった方のみ把握している。

【質問】

各種がん検診の受診率低迷の中、さらなるチェックと把握が大切。長崎市ではチェックリストで返送のなかった全員を保健師等が家庭訪問する。本町でも専門的なアドバイザーができる保健師を増員すべきでは。

【答 弁（健康長寿課長）】

家庭訪問事業は、生活機能などの状況を把握するのに有効な手段。本町では「おたっしや訪問事業」を加味し、検討課題とする。



元気はつらつ体操

# 新名神の進捗と当面の予定は

## 【答】 図面の確認後、地元と協議



奥村房雄  
議員

### 【質問】

昨年4月に事業が再開され、昨年7月から事業再開の説明会が開催されたが、事業の進捗状況と当面のスケジュールはどうなっているのか。

【答 弁（建設課長）】

昨年7月からの事業説明会開催後、直接関係地権者等に対してもご理解

をえた。その後、西日本

高速道路(株)(ネクスコ)

が、空中写真測量、現地

測量、地質調査を実施、

町管理の道路、水路、上

水道などの調整をおこ

さない、騒音、大気調査に

も着手した。現在、地元

との協議のための設計協

議用図面が作成され、こ

の図面に基づき町及び京

都府と確認作業を行って

いる。完了次第、地元と

の協議を進めていく。

### 【質問】

町、府の確認作業後、

沿線区・住民との協議に

入るが、時期はいつごろ

か。また、新名神の町内

通過区間は約6kmで、沿

線4区(郷之口、荒木、

岩山、禅定寺)の地権者

数は。

【答 弁（建設課長）】

町・府の設計協議の進

捗状況により時期は明確

にできないが、そのあと

土地の境界確定作業、用

地取得への準備にかか

る。地権者数は現時点で

は郷之口50件、岩山30件、

禅定寺50件の計130件

(荒木は全てトンネル区

間で用地買収なし)とネ

クスコから聞いている。

### 【質問】

郷之口に(仮称)宇治

田原ICができ、日本全国

津々浦々の方が利用され

る。第4次まちづくり総

合計画ではIC周辺は、茶

文化創造ゾーンと位置づ

けられており、茶でもて

なす環境整備や茶文化を

浸透、発信するための拠

点機能を導入するともさ

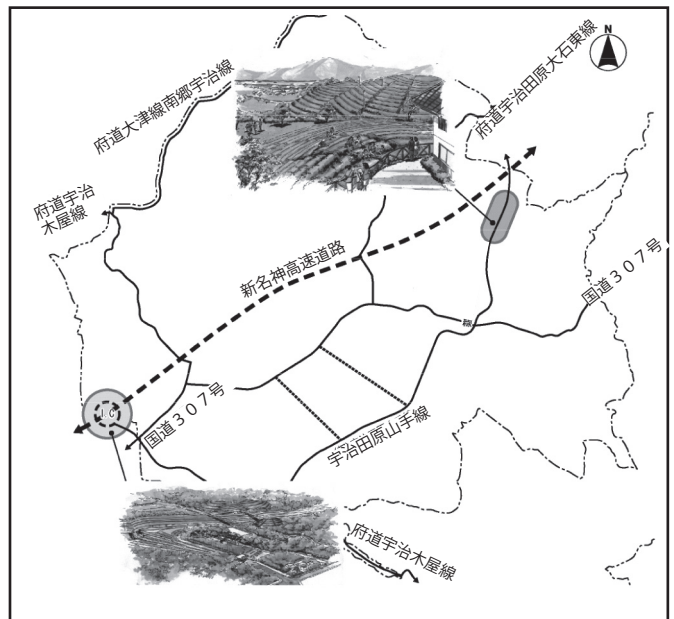
れている。ただ単に観光、

産業振興という面だけで

なく、文化的な面を含め

た観点からのまちづくり

構想があるのか。



【答 弁（企画課長）】

(仮称)宇治田原IC開設により、広域的なアク

セスの飛躍的拡大が期待

される。日本緑茶発祥の

地という歴史や宇治茶の

原産地として、本町のイ

メージをより一層高める

意味からも、茶文化を次

世代や来訪者に伝え、お

茶のふるさととして、多

くの人に知ってもらいま

ちづくりを積極的に推進

していく。このように、

お茶を単に観光、産業振

興という面だけではな

く、広く茶文化としてま

ちづくりを進めていきま

い。

### 【意見】

茶文化にふさわしい施

設を兼ねた『道の駅』構

想を早急に考えてはどうか。

か。



新名神トンネル口付近 (岩山)

# 現在も自民党の最高顧問が

## 【答】最高顧問は辞任した

【質問】

西谷町長が自由民主党

宇治田原支部の最高顧問

に就任されているのは、

宇治田原1万住民のトッ

プリーダーとして大いに

問題があると思うが、現

在、最高顧問は辞任され

ているのか、いないのか、

この場ではつきりと聞き

たい。

【答 弁 (町長)】

住民の皆様には誤解を与

えかねないとの考えに至

り、最高顧問の職を辞任

させていただいた。

## 副町長の人選は

## 【答】いましばらくの時間をいただきたい

【質問】

副町長人事について、

新聞紙上では決めている

人物がおられるようにも

報道されていたが、一刻

も早く迷わず速やかに人

選をしては。

【答 弁 (町長)】

議会や、住民の皆様には

適任と思われる人を、可

能な限り早期にご提案し

たい。今しばらくの時間

をいただきたい。



谷口重和 議員

## 山手線の進捗状況は

## 【答】ネクスコと町で調整中

【質問】

山手線の進捗状況につ

いて、多方面から得る情

報として、あまり進んで

いるように思えないが、

今年度に入ってどの程度

進んだのか。測量やボー

リングはしているのか。

【答 弁 (建設課長)】

新市街地を除く、約4・



山手線 (南バイパス)

2キロの概略設

計に着手し、設

計の実施にあ

たっては、大き

な法面や構造物

の想定される場

所でのボーリン

グ調査をしてい

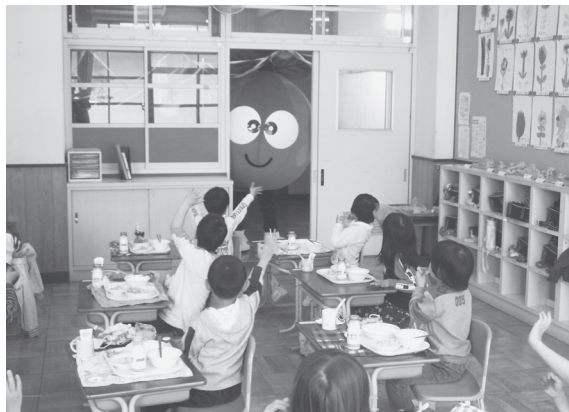
る他、庁内関係

課との協議もお

こなっている。

## 学校給食のアレルギー事故への対応は

## 【答】マニュアルを整備したい



給食時間

は打たず対応

が遅れた。調

布市の報告書

には気分が悪

くなってから

14分が生死

の分かれ目と

も書かれてい

る。有事のと

きの初期対応

は。病院や診

療所とのホッ

トラインは。

【答 弁 (教育次長)】

校医や主治医との連絡

体制は整備しているが、

基本である組織としての

対応マニュアルの整備を

行い、子供たちが安心・

安全に楽しい学校生活が

送れるよう対応してい

たい。

【質問】

全国で30万人以上の

学童が何らかの食べ物ア

レルギー問題を抱えてい

る。昨年東京調布市で小

5の女児が死亡した。女

児は、「エピペン」(自己

注射薬)を常時携帯して

いたが、本人が「打たな

いで」と言ったので担任

# 生活保護基準引き下げ撤回を求めよ

## 【答】見守っていくことが賢明

【質問】

今年8月1日から生活保護基準が引き下げられた。今回削られる生活扶助費は、食費や光熱費などの生活費そのものであり、貧困世帯をさらに追い詰める。町内の受給者への影響は。

【答 弁 (福祉課長)】

新基準で生活保護が廃

止となる方はいない。今回の制度改正は、総合的な対策としては一定の理解もしているが、大半の受給者が生活扶助基準が下がることは事実。現実給者の生活状況をしっかりと把握し、相談等にも対応していく。

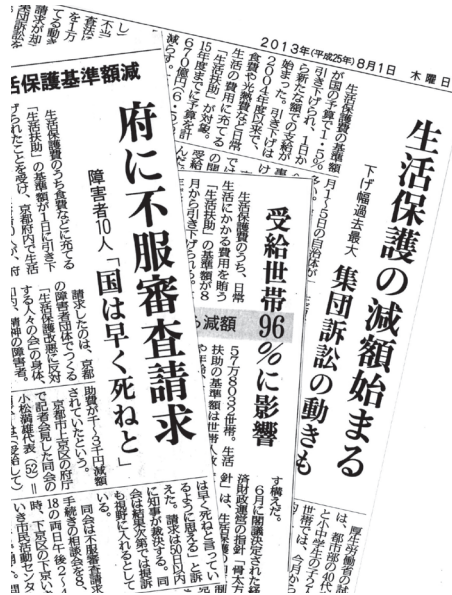
【質問】

生活保護基準は、受給

### 生活保護の減額始まる 集団訴訟の動きも

#### 受給世帯96%に影響

#### 府に不服審査請求 障害者10人「国は早く死ねと」



京都新聞より

者以外の低所得者世帯に對する就学援助制度や、住民税の非課税限度額の算定、保育料や医療・介護の保険料の減免制度などにも関係する。負担増等の影響はないのか。

【答 弁 (福祉課長)】

本年度はないが、平成26年度以降は影響が及ぶ可能性がある。国の動向や税制改正議論を注視し、生活弱者に影響が及ばないよう対応を検討していく。

【質問】

今回の削減幅は過去に例を見ない大幅なものであり、特に低所得者層に大きな影響を及ぼす。貧



今西久美子 議員

困に苦しむ国民に手を差しのべない国に未来はない。保護基準の引き下げそのものをやめるべきと考えるが、町長の認識は。また、国に対して引き下げの撤回を求めよ。

【答 弁 (町長)】

生活保護制度というセーフティネット機能は堅持されるべきであるが、制度については状況を慎重に見守っていくことが賢明。その上で、本町住民に対する対応等については、十分な検討を行い、各種機会を通じて地方自治体としての意見を述べていきたい。

【質問】

最近、シカやイノシシが増え、民家の庭先や道路まで出没

## 有害鳥獣被害対策の強化を

### 【答】 駆除実施で被害の軽減をはかる

【質問】

平成23年3月に鳥獣被害防止計画を策定し、3年間で被害を半減するとした。その進捗は。

【答 弁 (産業振興課長)】

サル、シカの被害は、大幅に減ったが、イノシシは、電気柵の手薄な場所に出没した。今後、電気柵の設置をさらに進め、被害の軽減、防除対策を実施していくとともに、次期計画でイノシシの捕獲駆除に重点を置いた計画も検討する。

している。京田辺市や宇治市などで実施されている川沿いや山際をフェンスで囲う方法も検討を。

【答 弁 (産業振興課長)】

電気柵等の設置で一定の効果があるのでいる。猟友会宇治田原支部に協力いただき、有害鳥獣の駆除を実施し、被害の軽減を図っていきたい。



山際をフェンスで囲う (京田辺市)

# 庁内における体制強化策は

## 【答】 早急に体制づくりにつとめたい



垣内秋弘 議員

【質問】

副町長の選任について

町長はしかるべき時期に

提案したいと言っていた

が、6月議会にも提案さ

れず、すでに半年余りが

経過した。庁舎内の課題

も山積している中、体制

づくりは喫緊の課題であ

ると思うが、現在の状況

と町長の思いは。

【答 弁(町長)】

町長就任以来、その選

任について努力してきた

が、提案できない状態で

ある。可能な限り早期に

提案できるよ

う引き続き選

任に向け最大

限努力する。

今しばらく時

間をいただき

たい。

【質問】

新名神高速

道路、宇治田

原山手線等の

事業化に向け

役場建設・環境課



## 行政評価システムの進捗は

### 【答】 事務事業調書を見直し評価を実施

【質問】

行政評価の目的は①職

員は目的意識を持って業

務を遂行する。②P D C

Aを確立する。③住民へ

の説明責任を果たすこと

が重要。また、行政評価

共施設への対応で、山

手線では、新市街地区間

の事業化、現地測量、用

地交渉等、新名神では用

地買収、現地立会い、境

界確定作業に伴う立会い

等々、事務事業が増大し

てくる。早急に体制づく

りに努めたい。

システムは事務事業を改

革するとともに、マネジ

メントサイクルを活用す

る中で、より良い行政

サービスが求められる

が、今日までの進捗状況

【答 弁(企画課長)】

昨年度から、効率的な

行政評価の実施、効率的

な行政運営の観点から、

事務事業調書を新たに

見直し、すべての主要事

業の評価を行なった。評

価結果を掲げていく。

結果を次年度の政策立

案・予算査定に繋げてい

る。評価結果の公表につ

いては、行政の透明性及

び住民への説明責任を果

たすため、平成27年度に

評価結果を掲げていく。

## 新市街地の山手線整備は

### 【答】 保安林解除を行い、事業化する

【質問】

新市街地に

おける山手線

整備事業は課

題が多いと思

われるが、ど

のように進め

ていくのか。

【答 弁(建

設課長)】

保安林解除

が必要であ

り、諸課題の

整備ができた段階で事業

化していきたい。



山手線予定ルート

# 湯屋谷連絡道の新設を

## 【答】引き続き調査・検討していく



青山美義  
議員

### 【質問】

大雨や暴風雨などの自然災害は私たちの暮らしに突然襲いかかり、大きな災害をもたらす。最近では、全国的に大雨や土砂災害等が発生している。未然に防ぐ対策が必要と考えるところであり、特に中谷地域の川下で、土砂災害や通行止め等が発生した場合、川上

砂災害等が発生している。未然に防ぐ対策が必要と考えるところであり、特に中谷地域の川下



連絡道の新設をのぞむ中谷地域

の住民が孤立し日々の生活に大きな支障をきたすことになる。住民の生活を守るためにも、湯屋谷中谷地域の横断連絡道は、住民生活に密接な重要道路になるものであり、早期の実現に向けた努力を。

の住民が孤立し日々の生活に大きな支障をきたすことになる。住民の生活を守るためにも、湯屋谷中谷地域の横断連絡道は、住民生活に密接な重要道路になるものであり、早期の実現に向けた努力を。

### 山手線プロジェクトチームを

#### 【答】体制強化をはかっていく

### 【質問】

宇治田原町は近畿の中心に位置し、申し分のない条件にもかかわらず、なぜもつと発展しないのか。それは朝夕の交通停滞以外考えられない。凍

結していた第二名神も解除され、あとは町内の渋滞を緩和すれば企業誘致も実現し、ひいては雇用対策にもつながる。都市計画道路山手線の全線開通は、住民の生活の利便

【答 弁 (町長)】 中谷地区は急峻な地形であり、これまでも検討した経緯があるが、地域の方々の安全・安心の確保の観点から、どのようなルートが確保できるのか引き続き調査・検討していきたい。

【答 弁 (町長)】



山手線 (南バイパス)

性、安全性、快適性を確保し、経済の活性化にもつながる。まさに打ち出の小づちである。

宇治田原町の将来のため、早期の開通に向けてプロジェクトチームを立ち上げる考えはないのか。

【答 弁 (町長)】 宇治田原山手線に限定

した場合、他課との連携は限定的であり、現体制で対応できると認識しているが、新名神高速道路の建設事業が具体化していく中では限界もあることから、新名神高速道路及び宇治田原山手線整備に係る事務を円滑に進めるため、体制強化をしつ

かりと図っていきたい。

# 要支援改定時の受け皿は

## 【答】最低限のサービスは担保する



原田周一  
議員

### 【質問】

要支援サービスを介護

保険の対象から外せば、

市町村間で大きな格差が

出ると予測されるが、本

町の受け皿は。

【答 弁(健康長寿課長)】

国は、地域の受け皿整

理が課題としながら、最

低限のサービスは担保す

るとしているが、市町村

のサービス環境や社会資

源により、サービス格差

が生じる可能性がある。

### 【質問】

財政的に豊かな市町

村、ケアサービスの施設

などが充実している地域

と比較して、現状は疑問

の多いところ。めざすべ

き方向性、内容は。

【答 弁(健康長寿課長)】

介護予防サービスが市

町村事業へと移行したと

きの格差について、現在

利用のサービスは最低継

続していきたい。また継

続的な支援が必然である

ため、地域包括支援セン

ターの機能の充実を図ら

なければならぬ。

### 【質問】

症状の促進抑制・改善

のため、理学療法士の採

用や、全町あげて毎朝ラ

ジオ体操を実施しては。

【答 弁(町長)】

理学療法士の採用は、

職員定数管理など、難し

い課題。健康体操は、国

保等の医療費や介護給付

費の抑制につながる大変

有効な手段。健康体操の

普及や全町あげての実施

については、十分な検討・

調整が必要と考える。

## 特別警報時、住民への伝達は

### 【答】検討し多重化を図っていく

### 【質問】

8月30日、気象庁は「特

別警報」の運用をはじめ、

市町村から住民への周知

が義務づけられたが、住

民への伝達手段は。

【答 弁(総務課長)】

「特別警報」発表の場

合、数十年に一度の危険

な状況。伝達手段は、計



土砂崩れで通行止めとなった国道307号(岩山)9月16日未明

画に基づき広報車巡回、

消防団のサイレン吹鳴、

地区自主防災会による個

別巡回、ラジオやテレビ

等による放送、京都府防

災・防犯情報メールや緊

急速報メールの配信等に

より伝達する。

【質問】

本町は広範囲のため、

先ほどの伝達手段では住

民の生命・財産を担保す

るには疑問。各地域に防

災無線の設置、有線放送

設備の設置などへの投資

も必要では。

【答 弁(総務課長)】

迅速かつ的確に行える

よう、新たな伝達手段の

手法について検討し、多

重化を図っていく。



理学療法士によるリハビリ



# 早く山手線の建設を

## 【答】緑苑坂く大津市間を先行する

【質問】

山手線の整備について、今年度は、やっと予算もつけて取り組んでいるが、建設の見通しはどうなっているのか。ネクスコが、全線を工事用道路として活用できるのか。

【答 弁（建設課長）】

山手線新市街地区間は、保安林解除手続きを進めている。また、現在、設計協議用図面を作成中である。山手線の緑苑坂から大津市区間は、新名神と交差することから、工事用道路としても先行して整備することになる。

【質問】

山手線建設に町としての「やる気」を示すためにも、町独自に南地区からの着工を進めていくべきではないか。

【答 弁（町長）】

本町にとって命運のかかる道路である。今後とも「本気でやる」という決意を示していく。

## 通学路の安全対策を

### 【答】安全指導・教育をすすめる

【質問】

立川大道寺地域の通学路の安全対策をどうするのか。通学時間帯にかなりの車が走行し、子どもが危険な状態にさら



安本 修  
議員

されている。一つの対策として、カラー塗装を延長できないか。また大道寺から小学校までの通学路を抜本的に改修できないか。

【答 弁（教育次長）】

カラー塗装は、指定集合場所から学校までの通学路で実施しており、各家庭から集合場所までは対象としていない。児童に対する安全指導、安全教育を進めていく。大道寺から学校までの通学路（山道）は、これまでも必要な箇所については補修してきた。抜本的な改修については、今後とも検討していく。

## 公園の整備を

### 【答】ニーズの把握につとめる



ゆったり遊べる公園の整備を

【質問】

町内に子どもを遊ばせて、ゆったりできる公園がない。小さくても身近かにすぐに使える地元の公園がないのが現状である。整備すべきではないか。

【答 弁（建設課長）】

この間のアンケート調査では、公園整備に対してニーズが低いとの結果だった。町づくり計画を見直す際、改めて住民ニーズの把握に取り組む。



通行量の多い大道寺の通学路

# 小学校区単位での防災訓練を

## 【答】 11月10日に田原小校区で実施予定



炊き出し訓練 (荒木地区)



稲石 義一  
議員

【質問】

小学校区単位での防災訓練の実施を。

【答 弁 (総務課長)】

11月10日に田原小学校において、地震発生を想定した中規模の防災訓練

を実施予定である。

【質問】

自主防災組織への補助

金制度について、現行では補助率2分の1、上限

20万円、2回目以降5万

円となっているが、地区

人口や洪水・崖地崩壊の危険度など地域状況に合わせた制度に見直しを。

【答 弁 (町長)】

前向きに検討したい。

【質問】

住宅の耐震改修について、生活時間の長い部屋だけを部分耐震改修した

場合も補助対象とするなど、利用しやすい制度に見直しを。

【答 弁 (総務課長)】

簡易な耐震補強の工法も含め現行制度の見直し

や拡充、新制度の創設についても検討したい。

### 社会保障制度改革についての考え方は

#### 【答】生活弱者への支援等が必要不可欠

【質問】

社会保障制度改革について、「受益と負担」のバランス及び持続可能な社会保障制度とするに ついての考え方は。

【答 弁 (町長)】

一定の給付抑制や負担増が求められることは仕方ない一面もあるが、生活弱者への支援等が必要不可欠と考える。

【質問】

国保運営の都道府県への移行について、今後どのような議論が必要か。

【答 弁 (町長)】

保険料の賦課徴収や保健事業などは引き続き市

町村が担うこととされているが、今後、具体的な

制度設計の協議や議論がなされていく中、地域の

実情を踏まえた要望を積極的に国にあげていく。

【質問】

要支援者への介護給付を市町村に移行させるについて、市町村間にサービスマグ差が生じる懸念や負担増はどうなるのか。

【答 弁 (健康長寿課長)】

引き続き安定した介護予防サービスを提供できるように、地域支援事業の

上限規定(3%以内)の見直しを国に要望していきたい。

### 職員の給与水準は適正か

#### 【答】適切な範囲と考える

【質問】

職員給与は、府内11町村との比較では、ラスパ

イレス指数は第3位、平均給与月額第4位と上位にランク付けされている。人口規模はもちろん

財政力や行政水準が異なる中、本町の給与水準は適正と言えるのか。

【答 弁 (町長)】

府内他町村の財政力や行政水準をかながみて、本町の給与水準は適切な範囲にあると考える。

総務産業常任委員会

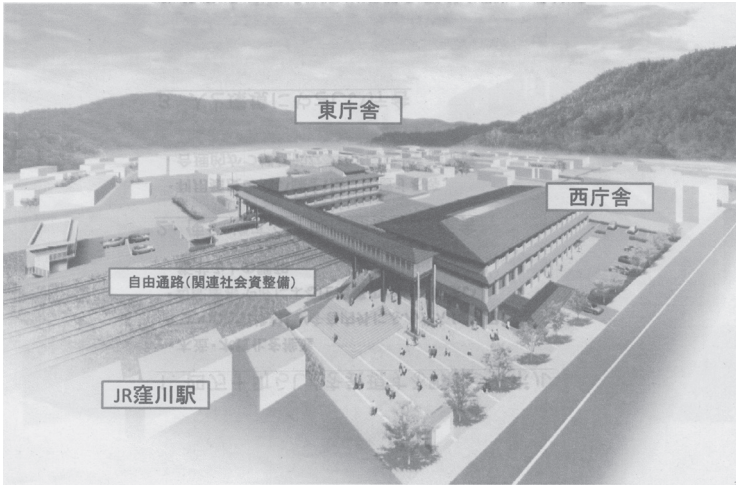
本町が直面する課題

「庁舎」「道の駅」を視察

高知県四万十町・香川県善通寺市

総務産業常任委員会は、7月29日～30日にかけて、高知県四万十町役場の道「JA香川県善通寺産直ふれあい市」を視察し、いま本町が直面する「庁舎」や「道の駅」について研修を実施した。

防災機能を備え、地元産材をフルに活用  
四万十町の新庁舎



四万十町の新庁舎完成予定図

四万十町は平成18年3月に2町1村で合併し、人口約1万9千人、面積642km<sup>2</sup>、林野率87%となった。

●本年度完成予定

現在建設が進められている新庁舎は、平成23年度に基本設計・基本計画、平成24年度に実施設計・事業着手し、平成25年度末に完成を予定。

●4つの基本方針

①町のシンボルとなり、

永く町民に親しまれる

②子供や高齢者、障害のある方々に配慮した

③自然の素材(地産)とエネルギーを利用した環境に負荷をかけないエコロジカルな

④防災機能をもち、他の周辺公共施設と連携を図れる、などを庁舎建設の基本方針に、きめ細かく気配りされた計画である。

●建設費は35億円

庁舎建設費(総額)35億円に対する財源は、合併特例債25億円、まちづくり交付金4億円、土地開発基金1億8千万円、一般財源3億7千万円などを確保し、財政上の無理のない計画で、住民の合意を得る中進められている。

善通寺産直ふれあい市を視察



地元へ愛される道の駅「ふれあいセンター」

「道の駅」にて地産地消推進に係る流通関係について説明を受けた。平成20年小さな施設で開所して3年後に増設し、空調を整備するなど取扱商品も増えた。特に生花等が比較的売り上げを伸ばすことができた。年間売り上げは正会員(178名)により、2億円、業者会員(30名)では3千万円という状況である。商品は毎日引き取りとなっており、出荷する者個人が全て管理する体制をとっており、常に新鮮な商品の品ぞろえに配慮している点は顧客を大切にしていると感じた。

# 小中一貫教育・健康長寿のまちづくり 先進地の事例を学ぶ

## 長野県信濃町・箕輪町

### 文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会は、7月23日～24日にかけて、長野県信濃町の小中一貫教育校「信濃小中学校」の取り組みと、同箕輪町の「健康長寿のまちづくり」を視察研修した。

### 信濃小中学校（校舎一体型小中一貫教育における学校づくり）

信濃町では、少子化と校舎老朽化（耐震含む）が問題となり、5つの小学校を統合するのに合わせて、平成24年4月に現在の小中学校敷地に小中一貫教育校「信濃小中学校」を開校した。従来の6・3制を、児童生徒の発達段階を踏まえた4（初等部）・5（高等部）制に区分し、9年間のカリキュラムを教科毎に作成し、信州大学の指導により9年間の育ちを保障する支援シ



地域交流ホール

を保障する支援シ

テムが構築されている。5・6年生では、教科担任制（国語、社会を除く）、50分授業を導入、5年生以上の算数・数学・英語を少人数学習とするなど学びの充実を図る特色ある教育課程が編成されている。開校から1年半が経過した校舎一体型小中一貫教育校の学校づくりの状況を詳細に把握することができた。今後は校舎分離型の一貫教育校も視察する中でさらなる情報収集に努めていきたい。

### 箕輪町がすすめる 健康長寿日本一のまちづくり

2012年の平均寿命（厚労省発表）は男女とも長野県が全国1位。箕輪町は、2008年に男性の平均寿命が長野県1位となっている。

箕輪町では、平成23年度より「みのわ健康づくり計画」に掲げる『健康づくり日本一をめざして』の実現に向け、一人ひとりが健やかで心豊かに生活するため、生活習慣病の改善を図り、「壮年期死亡の減少」・「生活の質の向上」・「健康寿命の延伸を図る」の3つの重点項目に取り組みされている。

特に、信州大学の寺沢教授が提唱する「運動とコミュニケーション」の理論と実践に学び、『楽

しく、仲良く、温かく』をモットーにした『みのわ健康アカデミー』は、今年で第9期を迎え、開校以来約360人の卒業生を送り出した。健康レベルの向上とともに、幸せづくりにも貢献している。生涯現役！を合言葉に、『元気はつらつ箕輪の大先輩活動支援事業』を実施し、高齢者が健康で人格を磨



箕輪町健康アカデミーのパンフレットと元気ポイント手帳

き、心豊かな人生を送ることができるよう、更なる地域の連帯と絆の強化を図っている。予防医療対策として特筆すべきは、24時間対応の「みのわ健康相談ダイヤル24」を開設されたことである。箕輪町では、町全体が長寿日本一の誇りに満ち溢れているように感じられた。

## 今年「白寿」を迎えられた町内最高齢者

# 奥村 ウノ さん(岩山馬道)



町内の最高齢者 奥村ウノさんは、今年白寿（99歳）で記念すべき年を迎えられました。1人暮らしの奥村ウノさんにインタビューしました。

Q.長寿で元気な秘訣はなんですか

A.消化の良いものを、好き嫌いなしに何でも食べる。特に牛乳とバナナを毎朝食べる。酢の物を食べるようにしてラッキョ、梅干を好んで食べることです。淡路の玉ねぎを良く食べます。また、ラッキョと梅干は自分で漬けます。

Q.楽しみはなにですか

A.小さな畑ですが、野菜作りをするのが楽しみ。自分で種を蒔き、水をやり育てています。できた野菜を好んで食べています。

Q.家庭菜園で何を作っていますか

A.大根（長・丸）、ネギ、小芋、とうがらし等をつくっています。

Q.買い物はどうしているのですか

A.サンフレッシュやコメリへ、水曜日と土曜日に息子が連れてくれます。

Q.食事の用意はどうされていますか

A.自分で作っています。

Q.お孫さん、曾孫さんは何人ですか

A.孫5人、曾孫2人です。

Q.趣味はありますか

A.大正琴。今はやめていますが、以前は行事等に参加し披露していました。

Q.気をつけておられることは

A.昨年、肺炎で1週間入院したので、風邪を引かないように気をつけています。

Q.人生で幸せなことはなんですか

A.子ども2人に恵まれたこと。夫は歌舞伎役者をしていて、活躍していました。今年は敬老会に是非参加したいです。



元気の源「家庭菜園」



維孝館中学校



町立保育所

スポーツの秋  
～運動会～



宇治田原小学校



うぐいす幼稚園

今号の表紙

さわやかな秋晴れのもと、町内各所で運動会が行われました。写真は田原小学校の1・2年生による集団演技。楽しそうに踊る子どもたちに大きな拍手が送られました。

編集後記

台風18号による豪雨は大きな被害をもたらしました。被災者の方々にお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧・復興を行っていく必要があります。議会としても災害対策として2億円の補正予算を可決したところです。

さて、9月定例会は33日間にわたり各常任委員会、補正予算特別委員会及び決算特別委員会等、慎重に審議を行ない議しました。住民の皆様方のご感想、ご意見等、是非お寄せ下さい。

(広報編集委員 垣内)